（別紙4（2））

事業所名　すがの親愛ホーム

作成日：平成　31 年　1 月　11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
4	49	日常的な外出支援が出来ていない。本人希望の外出、また以前行っていた全員での外出レクリエーションも行っていない。	年間での外出レクリエーションは計画を作り、実施していく。	まずは、職員不足を解消して、余裕のある人員配置を行う。外気温にもよるが、近場公園への散歩はノルマとして実施していくようにする。	2ヶ月
1	12	就業環境の整備ができていない。 職員によって、勤務時間及び業務内容の差が出来ている。プライベートの時間も取りづらい環境になっている。	職員全体がやりがいを持てるような勤務環境を作り、職員による業務の偏りがない環境を作る。	新規採用を積極的に行い、職員の絶対数を増やし、余裕のある勤務シフトを作る。その結果、希望休も取りやすくする。職員の研修等を行い、高いレベルで職務能力を均等化させる。	4ヶ月
2	14	同業者との交流が不足している。その結果、地域での情報交換またサービスの質を向上することができていない。	他社との施設交流と意見交換を行い、さらに良い施設を目指す。	以前は、広報職員が他施設との交流に積極的だったが、現在は同職員の勤務先が変更となり、その役割を担う職員がいなくなった。今後は、管理者及びケアマネージャーが行っていく。	4ヶ月
3	35	災害対策として、利用者を含めた避難訓練を行っていない。また、消防訓練だけではなく、風水害に関する避難準備が出来ていない。	全職員が災害への意識を高める。また、非常時には円滑な行動が出来るようにする。認知症の利用者の誘導も想定する。	災害計画を作成したので、職員全体に周知させた上で、災害訓練を実施する。また、地域住民の方々に避難所として利用していただくように周知と食料品の備蓄を行う。	6ヶ月
					s

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。